

●2月3日(土)ウクレレサークル 10時~12時

2月のウクレレサークルは「パプリカ」を練習します。まだまだうまく弾けていない人が多いのでしっかり練習してください。次の曲は「翼をください」にしたいと思います。現在編曲中です。楽譜ができたらみなさんにお渡しします。おたのしみに！



●2月11日(日)~2月13日(火)冬合宿(国立高遠青少年自然の家)長野県

冬合宿は雪を求めて信州高遠に行きます。冬の季節でしかできない雪遊び、カーリングボウリング、スノーシューハイク、クロスカントリースキーなどを予定しています。冬を大いに満喫してきたいと思います。行きは路線バスで帰りはJRを乗り継いで帰ってきます。今回参加の利用者は11名と少ないです。みなさん寒い冬が苦手なようですね。今回参加しない利用者も次回は参加してくださいね。



※2月13日(火)はいつも通り作業を行います。合宿に参加されない利用者さんは休みではないので気を付けてください。2月12日(月)は祝日の為、合宿に参加されない方はお休みです。

●2月17日(土)保護者会主催リクレーション(西陣工房)13時~16時予定

内容等は後日保護者会の案内でお知らせします。

●3月24日(日)京都卓球バレー協会交流大会(京都障害者スポーツセンター)10時~16時

3年ぶりの交流大会です。障害の有無を問わず誰でも参加出来る大会です。西陣工房は利用者3チーム、保護者1チーム、職員1チームの5チームの参加で申し込んでいます。出来るだけ参加してください。

能登半島地震の救援金のご協力をお願いします。

ご承知の通り、本年元旦に発生した石川県能登地方を震源とする地震は能登半島北部地域に甚大な被害を及ぼしました。能登半島と言えば、西陣工房は昨年の秋合宿に利用した羽咋市にある国立能登青少年交流の家と密接な関係にあります。幸いながら、交流の家は大きな被害を免れて、現在被災者の収容施設として活動しているとのこと。

西陣工房でも、社会的な責任の一端として、被災者救援のための救援金を関係者である利用者、保護者、職員の方々から集めたいと思います。募集期間は2月19日までで、集まったお金は京都新聞社会福祉事業団に持参して、石川県災害義援金配分委員会へ届けていただきます。皆さんのご協力をお願いします。



地震と火災で壊滅的な被害が出た「輪島の朝市」1/19 写真

せんげつ 【先月のできごと】

- 1月4日(木)リクレーション(初詣、書初め) 利用者22名参加
- 1月6日(土)ウクレレサークル 利用者15名参加
- 1月14日(日)スポーツデー(市内散策) 利用者17名参加
- 1月20日(土)ほっとはあとマルシェ(イオンモールKYOTO) 利用者21名参加

●1月14日(日)スポーツデー(市内散策) 利用者 17名参加

1月14日(日)1月とは思えない温かい日が続いた後の急な冷え込みの朝でした。今日は恒例の全国都道府県対抗女子駅伝。当初鴨川方面の散策を予定していましたが、駅伝のスタート前の緊張感を味わいに、行き先を急遽西京極のたけびしスタジアム京都方面に変更しました。つまり、毎年春に行く花見のコース。寒いのが嫌な人が多いのか、参加者は17名と少なめでした。大変残念なことです。「雨にも負けず」の精神で、寒さなんかに影響されずにもっと参加して欲しいですね。



たけびしスタジアム京都にて R6.1.14

西陣工房から右京区役所を経て天神川を下り西京極へ。予想通り、競技場周辺は活気に満ちていました。県人会主催の模擬店では各地のB級グルメが販売されていましたし、全国の駅弁も販売されていました。スタンドに入るとスタートの12時半まで1時間以上ありましたが、各区ごとにランナーが紹介され、歩いてトラックを半周してから、各中継所に移動して行きました。我々も桂川に沿って久世橋へ。途中の公園で昼食休憩。朝は寒かったけれど、好天に恵まれ、日なたにしているとポカポカ温かい日でした。午後花見のコースで、久世橋を渡りイオンモール桂川から桂大橋へ。そして、再度西京極に戻ると丁度すべてのランナーがゴールインした後で、ざわざわとしていました。能登の大地震の募金活動があちこちでされていて、西陣工房でもしなければと思いました。右京区役所で一応の解散。その後、地下鉄で西大路御池まで一駅乗り、歩いて西陣工房に到着しました。16時40分到着。歩数は36000歩でした。

●1月20日(土)ほっとはあとマルシェ(イオンモールKYOTO) 利用者21名参加

1月20日(土)ほっとはあとセンター加盟の施設が一堂に会して製品販売、ワークショップ、ステージ発表等を行う第3回ほっとはあとマルシェが今回もイオンモールKYOTOで開催され、京都市内の25施設が集まりました。西陣工房は製品販売、ワークショップ(組紐、キーホルダー、スマホ立て)、そして利用者によるステージ発表(ウクレレと歌5曲を発表)すべてに参加しました。とりわけステージ発表は西陣工房の独壇場で、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮して会場を盛り上げると共に、マルシェ全体の集客にも大いに貢献しました。



ステージ発表 イオンモール京都にて 1/20



shutterstock - 149177468

クラフト作業

2024年が始まりました。年明けからクラフト作業は大忙しです。注文品のエコバックが400枚と500枚。注文品のキーリングが190個。そして組み紐のストラップが1500個。こちらの作業を進めながら自主製品の方も合間を見て進めているところです。自主製品でもあるエコバックですが、作っても作ってもすぐに在庫が無くなってしまいうほどとも人気のある製品です。作る工程は複雑ではないのですが一度に100枚単位で作るので、場所と人手が必要。型取り→ほつれ止めの糊付け→裁断→縫製→検品→包装と順に進めていくのですが、利用者さんができる作業とスピードを考慮しながら進めることがなかなか難しく、納期が決められている製品はとても大変です。利用者さんの『得意』を見極めながらスムーズに作業をしてもらえるような工程や準備をし、皆さんに気持ちよく作業に取り組んでもらえるような現場を心がけています。今年も忙しくなるとは思いますが、頑張っていきたいと思います。



カラフルなエコバッグの絹生地

エコバック作りに奮闘中 1/26



1500個受注のストラップ制作中



1月より職員としてお世話になることになりました、長橋聡美です。二人の子供を持つ主婦です。上手くはないですが、学生時代から現在でもバレーボールを続けています。福祉に携わるのは初めてですが、利用者さんとの関わりが毎日楽しく、いろいろなことを学びながら一緒に製品作りに奮闘しています。今後ともよろしく願いいたします。



長橋聡美さん 1/26